

各種問い合わせ先

紀伊長島観光サービスセンター

三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島2410-73
TEL 05974-6-3555
FAX 05974-6-3555
HP <http://www.kanko-kiiinaga.com>

紀北町役場 紀伊長島総合支所 産業振興課
三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区長島2141
TEL 05974-7-1111
FAX 05974-7-1108
紀北町HP <http://www.town.mie-kihoku.lg.jp/>

公共交通機関ほか

バス 三重交通(株)南紀営業所海山事業所
時刻・運賃・臨時バス問い合わせ
0597-32-1321

汽車 JR紀伊長島駅
時刻・運賃・臨時列車問い合わせ
05974-7-0007

タクシー 紀勢交通(有)
05974-7-1511

お知らせ

「魚まち歩観会」の携帯電話用ホームページで新着情報やイベント情報をみることができます。QRコード用のカメラ付携帯をお持ちの方は、右のバーコードをご利用ください。



紀伊長島体験メニュー

かまぼこづくり 石臼で作った魚のすり身で自分だけのかまぼこを作ってみませんか。

場所 長島浦町 又吉屋かまぼこ店
開催 毎週土曜日、第2、4火曜日、祝日前日以外は開催
時間 1時間30分(9:00~10:30)
料金 1,500円~
人員 5名以上(3日前予約)

干物づくり 捕れたての魚で干物づくりを体験、出来上がるまで魚まちを教歴。

場所 中ノ島 マルキ商店加工場
開催 通年(土曜日、祭日の前日を除く)
時間 2時間(9:00~11:00)
料金 2,000円
人員 1名~10名

熊野灘クルーズ 船上から珍しい海鳥や島をウォッチング、カンムリウミズメに会えるかな。

場所 長島港~近海
開催 通年
時間 2時間(9:00~11:00)
料金 3,500円
人員 2~30名(前日予約)

和菓子作り 自分で作るおいしいわ菓子、焼きたての香り豊かな生地でこしあんを巻きます。

場所 西長島港市会場 とらや製菓
開催 毎月第2土曜日
時間 30分(11:00~12:00)
料金 800円
人員 1名~

古道・魚町語り部

語り部が、古道や町なかを道案内してくれます。

体験メニューのお問い合わせは「紀伊長島観光サービスセンター」へ
営業時間 AM9:00~PM5:30

「魚まち」の四季ごよみ



月	日	項目	実施場所	行事内容
1月	11日	弓の稽	長島神社境内	二百年前から続く豊漁祈願の伝統行事。「まと」をめがけて弓を射る少年たちの若武者ぶりが勇ましい。
	11日	息子の酒	湊家(本町)	(下の欄の「史跡・みどころ」※1)
※中旬	ドンド焼き	長島神社、浜など		(※以前は15日でしたが、現在は船だんじりの日の朝に行われる。)神社境内や近くの浜で注連縄などの正月飾りを焼く行事です。
	中旬	船だんじり	前浜~横町~長島神社	カツオの一本釣り漁を模した「船だんじり」は、大漁祈願の伝統行事。「チヨーサヤ」と威勢の良い掛け声を合図に船が引かれます。船が停止したとき、かぶせ代わりに飴をまとく、見物客が我先に飴をひろい、周囲は興奮と熱気に包まれます。
	17日	秋葉大権現	仏光寺裏山秋葉堂	あっさりやさんと呼ばれ親しまれている、火伏せの神で有名な秋葉大権現の祈禱行事。
	17日	厄落とし	観音堂、長島神社、寺	節分の日に「たいさま(鯛鮒)うって~」と、袋を持った子供たちが、豆まきの済んだ家を一軒一軒まわってお菓子をもらう光景は長島の新春の風物詩となっています。
2月	3日	節分	町の商店、船主の家	節分の日に「たいさま(鯛鮒)うって~」と、袋を持った子供たちが、豆まきの済んだ家を一軒一軒まわってお菓子をもらう光景は長島の新春の風物詩となっています。
	中旬	紅梅	長楽寺裏庭古木	樹齢200年の紅梅が早春に八重の可憐な花を咲かせます。
4月	1日	庚申さん	浦町の庚申さん	(下の欄の「史跡・みどころ」※2)
5月	5日	菖蒲節句	町内各戸	漁師の家には菖蒲やよもぎ、かやの葉を結んで屋根に上げる風習が残る。鏡湯へ行けば菖蒲湯が味わえます。
6月	15日	鏡神社	中の島鏡神社	
7月	土曜日	燈籠祭	前浜、防波堤、海	夏の風物詩「長島の大燈籠祭」。花火と海上に浮かぶ大燈籠の競演に、県内外から大勢の見物客が訪れます。
8月		お盆オドリ	仏光寺の境内、浜	精霊(しょうろう)さんを迎えるための行事。
	13日	お盆の馬の絵	仏光寺衆堂	えび網漁の解禁の日、旗の合図とともに漁船が一斉に沖に向かって出航します。
11月		えび網出漁	江の浦から沖へ	どちらも漁方の家に残る正月飾り。注連縄に蘇民将来子孫門や大漁御神など書いた木札をつけ、厄除けや大漁を願う。
12月		正月飾り	蘇民将来、懸の魚	

毎月第2土曜日 三重きいながしま櫻市
新鮮な魚介類や特産品が並び、町の人と触れ合い買い物を楽しむことができます。その場で地方発送してくれるでの荷物になります。



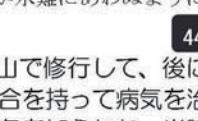
紀伊長島(長島浦)界隈は、熊野街道として熊野三山を目指す旅人が往来していたと言われます。古道の行き帰りには、昔の旅人を偲んで魚まち紀伊長島に立ち寄りお買物や町歩きを楽しんでみて下さい。

史跡・みどころ

古の国境の町、紀伊長島は、熊野古道が南北につらぬいていたため、古道の名残がそこかしこに現存する歴史の街です。(■は裏面地図の番号付近を示す。)



28



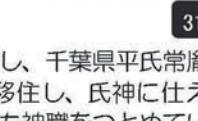
8



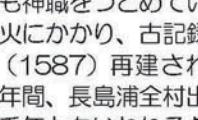
11



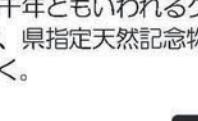
31



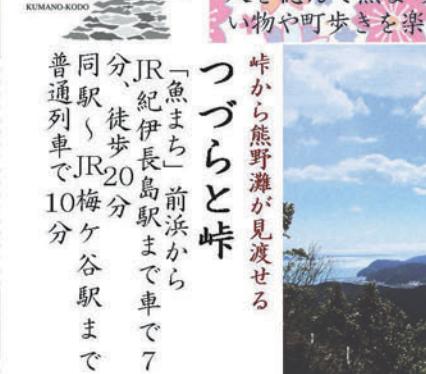
24



28



32



河童退治伝説で有名な初代湊治郎左衛門を祖先に持つ、何代にもわたって紀州藩長島組大屋敷をつとめた名家。湊家で正月に行われる「息子の酒」は、河童退治伝説に基づく江戸初期から続く漁師町ならではの行事です。

浜口熊猿銅像(上井ノ内)

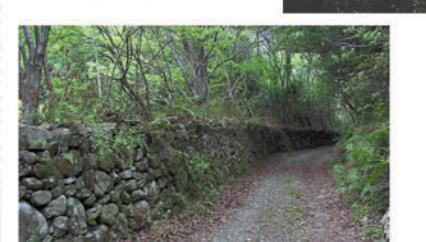
浜口熊猿は、明治11年下旬に生まれ、那智山で修行して、後に「人間自由術」と称した靈體を身につけた。気合を持って病氣を治療し、全国はもとより、東アジア、欧米にまで名を知られた。當時は尾崎行雄、御木本幸吉と並んで三重県が生んだ三傑とされ、現在では近代最大の靈術家とたたえられる。昭和18年、65歳で没。銅像は、昭和60年「浜口熊猿翁を顕彰する会」建立。脇の石灯籠は、松本別邸の庭園内にあった故人遺愛の石灯籠。



44



33



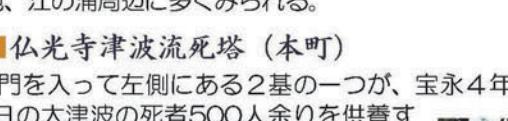
祭神は須佐之男命など。古くから現在地に鎮座し、千葉県平氏常胤子孫、東将監照房が南朝に奉仕後、長島浦に移住し、氏神に仕える。長島に数多い東氏の縁結家、御館氏が現在も神職をつとめている。神社は、長島城が落城した天正の合戦の兵火にかかり、古記録など全て焼失したと伝えられる。天正15年(1587)再建された。社殿の高さ8mに及ぶ石垣は、江戸・天保年間、長島浦全村出で、大島から石を運んだものという。樹齢千年ともいわれるクスノキの巨木をはじめ境内の暖地性植物群落は、県指定天然記念物である。記念碑山・長島城跡に登る遊歩道に続く。

いさば(五十集)屋通り(浦町)

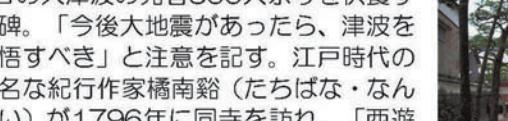
「いさば屋」は、海産業者の古称。明治から大正にかけ浦町には多数のいさば屋が軒をつらね、隆盛を極めたという。「阿波屋」は、かつての店構えが今に残る。現在では、「いさばや」は、浦町地区の他、江の浦周辺に多くみられる。



24



28



32



駐宮車場第一二番まで電車で登車口から15分からラウンド遠くに富士山が望めたといふ

魚まちの味ほん

紀伊長島は干物のブランド

開き	アジ・カマス・ウルメ・サバ・ウツボ
丸干し	アジ・イワシ・カマス・サイロ(サンマ)
たまり付け	ハゲ(マスマラハギ)・アジ・タチウオ・ウルメ・サバ・ラグ・シイラ
一夜干し	アカイカ・スルメ
その他	カツオの生節・カラスミ

この町を離れると思い出す味があります。

よめし(魚ごはん)

人参・ごぼう・しいたけ・こんにゃく・季節の野菜・魚(ワラサ・サバ・タイなど新鮮で脂ののった魚)を入れた炊込みご飯。炊き上がったら必ず刻んだ青ねぎをたっぷり入れる。

べっこ(う)寿司

握り寿司に照りをぬいた刺身を乗せて食べる。魚はブリ類・カツオ・シビなど。※家によっては、カツオなどの身を、前もってたまりと砂糖を合わせたタレに漬けこんだものを乗せる。

かつおの茶漬け

ごはんにうすく切ったカツオを乗せ、しょうゆをかけ、熱々のお茶をかける。好みでわさびと海苔をそえる。刺身を食べた後の楽しみ料理だ。

タタキ

ウルメイワシ・イサギ・アシジなどの身を包丁でたたくようにしながら、細かく刻む。生姜、青じそ、刻みねぎなどを添えて、しょう油または、酢味噌でいただく。

ジフ(魚すき)

しょう油・砂糖・お酒を煮立たせ、ソマ・カツオなど一口大に切った新鮮な赤みの魚の身を入れ、表面に火が通ったら、白菜・ネギなどの野菜をたっぷり入れ煮る。

照り焼き

ブリ・シビ・サバ・カツオ・サゴシ(サワラ)

煮付け

ガシ・イサギ・マス・イガミ・ムツ・タイ・サバ・カワハギ・ハダムロ・キントキ・グレ・テンテロイカ・タチウオ・タカノハ・アイノバリ・ナガレコ(貝)

天ぷら・フライ

アカイカ・キス・カマス・アジ・イワシ・タチウオ・ムツ

塩ゆで

ガンガラ(貝)・セー(カマノテ)

味噌あえ・酢味噌あえ

マンボウ・テンテロイカ・イサギ・ハダムロ

鍋もの

ヤガラ・カワハギ・タイ・アンコウ・カキ

殿様とマンボウ

「カツオは、いつも食べているが、このマンボウとやらは、はじめてだ。こんなおいしいものはしなかった。今後、浜に上げたなら、必ず若山の城まで、もってまいれ」。殿様の命令に困ってしまった漁師たちが考えた方法とは?

本ぬり

むかし、どん奥の、山里から出てきた山ごとさんら、三人で、新町



鰯の一本釣りを再現し豊漁を願う船だんじり



珍しい昇降式の江の浦橋

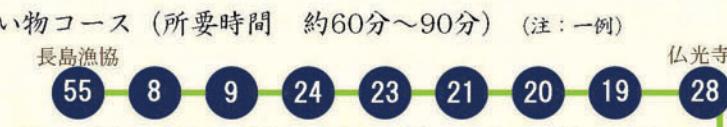
おすすめコース

注：紀伊長島駅方面からは、1番がスタートになります。――は時間に余裕のある方

- #### ● まち歩きコース（所要時間 約90分）（注：一例）



浦町唐串堂 長瀬寺 記念碑山 長島神社



55 53 50 49 48 44 47 46 29

- 他に史跡めぐりコースやまちなか展望コースなどプランは自由、番号の所にはマンボウ陶板が設置されているので迷わずに歩くことができます。

1 ----- ※マンボウ陶板設置場所 ----- 通行可能な堤防

■ --- 海産商 ■ --- 見どころ

----- 食料品店

----- 飲食店

----- 金融機關 -----

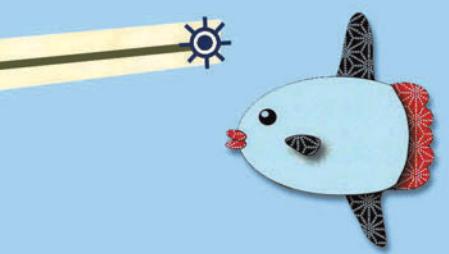
角まち紀伊長島道案内 ※マンボウ陶板



- 地図に記載の番号と同じ
- 地区名
- 地区名ローマ字



幅6.0～10.7m、延長499mの堤防は、絶好の釣り場として人気があります。大海原と、沖の小島が点々と浮かぶ景色が目の前に広がります。堤防先端には灯台が設けられています。



紀北町きいながしま 魚まちマップ

- ・古道魚まち歩観会
- ・三重県紀北町



エビ網漁船が漁場に向かう様子



アルファ橋周辺から魚市場にかけては
燈籠祭の会場となる。



漁を終え、寄り添うように船をさがすも、港



卷之三十一